

2022 年度 学生評価委員会報告書

2023 年 2 月 15 日 学生評価委員会

目次

| | |
|------------------------------|----|
| 2022 年度「学生評価委員会」の活動について..... | 1 |
| 2022 年度 学生評価委員会 活動報告..... | 3 |
| 第 1 回学生評価委員会 開催報告..... | 6 |
| 第 2 回学生評価委員会 開催報告..... | 15 |

2022 年度「学生評価委員会」の活動について

1. 学生評価委員会編成の経緯

共立女子大学・共立女子短期大学では、大学・短期大学の諸活動を点検・評価する中で在
学生からも広く意見等を募り、将来へ向けて改善していくことを目的として、大学・短期大学自
己点検・評価規程に従い大学・短期大学自己点検・評価実施委員会のもとに、2022 年 4 月 1
日付で「学生評価委員会」を編成した。

委員の選出にあたっては各学部・科から 2 名ずつの推薦を受け、合計 22 名が学長より委員
として委嘱された。

根拠規程(大学・短期大学自己点検・評価規程より抜粋)

(学生評価委員会の任務)

第 14 条 学生評価委員会は、本学が提供する教育活動に関して、学生による評価
を行い、改善に活用するため、次の事項について評価し、外部評価委員会に報告する。

- (1) 教育課程に関する事
- (2) 授業内容や授業方法、成績評価に関する事
- (3) 学修支援や履修指導に関する事
- (4) 入学者選抜に関する事
- (5) 施設設備に関する事
- (6) その他必要とする事項

(学生評価委員会の構成)

第 15 条 学生評価委員会は、本学の学生若干名の委員をもって構成する。

- 2 前項の委員は学長が委嘱する。
- 3 委員長は学長が指名する。

(学生評価委員会の任期)

第 16 条 任期は 1 年とし、再任を妨げない。

- 2 欠員が生じた場合の新任者の任期は、前任者の残任期間とする。

2. 2022 年度学生評価委員会の開催

・第 1 回学生評価委員会

開催日時:2022 年 7 月 7 日(木)17 時 30 分から 19 時 10 分

テーマ :「kyonet の教育効果について(学修ポートフォリオ、掲示、クラスプロフィール、Q&A など)」

開催形態:対面グループワーク形式

・第 2 回学生評価委員会

開催日:2023 年 1 月 19 日(木)17 時 30 分から 19 時 20 分

テーマ:「大学での学修における PC の活用について」

開催形態:対面グループワーク形式

3. 2022 年度の活動概要

2022 年度は「kyonet の教育効果について」と「大学での学修における PC の活用について」をテーマに対面グループワーク形式で開催し学生から意見を聴取し評価を受けた。2021 年度の学生評価委員会に対する外部評価委員からのコメントについても共有した。今後も出来る限りの情報開示を行ったうえで、学生評価委員会の意義、目的を考えながら運営していくことと、評価を受けての改善も検討していく。

4. 今後について

2022年度は主に授業に関するテーマで学生から意見を聴取し評価を受けたが、今後は同カテゴリーをさらに深掘りするとともに、出来る限りの情報開示を行ったうえで他のカテゴリーに関する評価も積極的に受けていく予定である。

2022 年度 学生評価委員会 活動報告

1-1. kyonet の教育効果について(学修ポートフォリオ、掲示、クラスプロフィール、Q&A など)

本学では、LMS(Learning Management System)として、「kyonet」を導入している。この利用状況とその教育効果について、授業で利用するクラスプロフィール機能とディプロマポリシーの観点の自己評価やディプロマポリシーの観点との成績連動などが確認できる学修ポートフォリオについてを中心に学生が評価を行った。

(評価の対象)

- ・kyonet 利用(学修ポートフォリオ、掲示、クラスプロフィール、Q&A など)
- ・学修ポートフォリオの活用方法(担任面談・ガイドライン)

(評価の観点と活用方法)

| 観点 | 評価された内容の活用方法 |
|-----------------------------|--------------|
| 目的・ねらいに対して、学生はどのように実感しているか。 | 現状把握 |
| 有効な活用方法・事例の収集 | 他学生への共有、改善活動 |
| 不満・要望はあるか。(細かい操作方法やバグ以外で) | 改善活動 |

1-2. 学生評価委員会の評価

学生評価委員会では、本件について委員への事前アンケート、当日委員会活動でのグループワークと発表及び事後アンケートを通して評価を行った。

kyonet を活用した教育効果という点において、授業で利用するクラスプロフィール機能がよく利用され、その通知機能についてや接続環境について課題があること、機能の充実や情報が集約されている点については良い点として評価された。学修ポートフォリオについては、20 人中 14 人が活用していると回答があり、活用したことがない、知らない学生もいた。当日のグループワークを通して、kyonet で教員からのフィードバックがあることが意欲、改善、学修計画などに重要であることがわかった。

今後の学修ポートフォリオの活用について大学・短期大学側に期待することとして、使い方説明、フィードバックの速さとマイステップの連携、記入するとどのように自分の学びに活かせるのかの説明をする、就活向けの仕組みなどがあげられた。

学生評価委員会としては、kyonet の教育効果について(学修ポートフォリオ、掲示、クラスプロフィール、Q&A など)について以下のとおり評価する。

【1】「kyonet 利用(学修ポートフォリオ、掲示、クラスプロフィール、Q&A など)」について、機能の充実や情報集約がされている点は良い点として評価できるが、学修するにあたって提出期限などわかりやすい通知方法や接続環境には課題がある。

【2】「学修ポートフォリオの活用方法(担任面談・ガイドライン)」については、使い方や自分の学びへの活かし方の説明、就活向けの仕組みが望まれる。教員からのフィードバックが意欲、改善、学修計画などに重要である。

2-1. 大学での学修における PC の活用について

本学では、2021 年度入学者から KyoritsuMy パソコンの制度を導入し、授業や授業外での学修、学生生活における活用を促進し、それに対応した教育活動・教育支援を行っている。それらが適切に実施できているかを学生が評価を行った。

(評価の対象)

大学における学修や学生生活でのパソコンの活用状況

(評価の観点と活用方法)

| 観点 | 評価された内容の活用方法 |
|------------------------------------|--------------|
| PC の活用の目的・ねらいに対して、学生はどのように実感しているか。 | 現状把握 |
| PC の有効な活用方法・事例の収集 | 他学生への共有、改善活動 |
| PC を活用するに際して課題・不満・要望はあるか | 改善活動 |

2-2. 学生評価委員会の評価

事前アンケートの回答者 17 名のうち 13 名 (76.5%) が自分で所有しているノート PC を「常時持参している」または「必要な授業だけ持参している」と回答しており、学生は何らかのかたちで大学に PC を持参し、活用しているという実態がうかがえる。

一方で、事後アンケートにおいて、学生個人の PC が十分活用されているかを 5 段階評価で設問したところ、授業で十分に活用されている(評価 4・5)と回答した学生は 6 名 (33.4%)に留まった。今後、KyoritsuMy パソコンを授業内においてより効果的に活用を促進していくことが求められる。

学生評価委員として、以下の点を学園に提案する。

【環境面】

- ①学内ネットワーク環境の改善
- ②充電環境の充実
- ③学内での印刷環境の改善
- ④授業外での学修や活動に My パソコンを活用できるスペースの確保

【運用面】

- ①授業内における My パソコンの活用の促進と運用の改善
- ②学生・教員のスキルの改善
- ③貸出 PC の運用の改善
- ④学生に My パソコンの購入を促す際の十分な説明

以上、学生評価委員会として、ご報告申し上げます。

外部評価委員会 御中

2023 年 2 月 25 日 学生評価委員会 委員長 千島唯楓

2022 年度第 1 回学生評価委員会 開催報告

1. 開催概要

開催日時:2022 年 7 月 7 日(月)17 時 30 分から 19 時 10 分

テーマ:「kyonet の教育効果について(学修ポートフォリオ、掲示、クラスプロファイル、Q&A など)」

開催形態:対面グループワーク形式

目的 :本学では、kyonet を軸とした教育活動・教育支援を行っている。それらが適切に実施できているかを学生に評価してもらう。

(評価の対象)

- kyonet 利用(学修ポートフォリオ、掲示、クラスプロファイル、Q&A など)
- 学修ポートフォリオの活用方法(担任面談・ガイドライン)

(評価の観点と活用方法)

| 観点 | 評価された内容の活用方法 |
|-----------------------------|--------------|
| 目的・ねらいに対して、学生はどのように実感しているか。 | 現状把握 |
| 有効な活用方法・事例の収集 | 他学生への共有、改善活動 |
| 不満・要望はあるか。(細かい操作方法やバグ以外で) | 改善活動 |

2.プログラム:

当日出席者:7/22 名(出席率 32%)

事前アンケート回答者:20/22 名(回答率 91%)

事後アンケート回答者: 7/7 名(回答率 100%)対象_当日出席者

事前活動

1)【事前動画視聴】

- 前年度までの活動内容(両副学長説明による本委員会の目的の理解)

2)【事前アンケート】

- kyonet でよく使う機能、使っていて困ったこと、使っていて良かったこと
- 学修ポートフォリオの機能の利用について

1)開会の挨拶(副学長)

「学生評価委員会」の意義(前年度活動の外部評価委員評価コメントの共有)

「学生評価委員会」の役割、位置づけ

2)本日の活動の目的と流れ説明

3)グループ意見交換(兼アイスブレイク)「kyonet でよく使う機能・使っていて困ったこと」

4)意見交換の全体交流

5)説明

大学での学びについて(自身の学びを評価しながら何をどう学んでいくかのデザイン)
学修ポートフォリオについて

6)グループワーク【協議】「自身の大学での学びをより良くデザインするために、『学修ポートフォリオ』をより効果的に活用するにはどんなことが必要か？」

7)グループごとに出た意見を発表

8)大学・短大側からのフィードバック

事後活動

1)事後アンケートの回答

2)kyonet マイステップの登録

3.学生評価の総括:

今回は、「kyonet でよく使う機能、使っていて困ったこと、使っていて良かったこと、学修ポートフォリオの機能の利用について」のテーマで学生評価委員会を開催した。

事前アンケート、当日の委員会活動、事後アンケートによる学生の評価結果としては、kyonet を活用した教育効果という点において、授業で利用するクラスプロフィール機能がよく利用され、その通知機能や接続環境について課題があること、機能の充実や情報が集約されている点については良い点として評価された。学修ポートフォリオについては、20人中14人が活用していると回答があり、活用したことがない、知らない学生もいた。当日のグループワークを通して、kyonet で教員からのフィードバックがあることが意欲、改善、学修計画などに重要であることがわかった。今後の学修ポートフォリオの活用について大学・短期大学側に期待することとして、使い方の説明、フィードバックの速さとマイステップの連携、記入するとどのように自分の学びに活かせるのかの説明をする、就活向けの仕組みなどがあげられた。

学生評価委員会の運営に関して、グループワーク、全体発表をすること、他学部・他学科の学生の意見を知る貴重な機会になったといった意見もあげられた。

事前アンケート結果から、kyonet の機能で利用するのは、授業資料のアップ、課題、テストなど授業で利用するクラスプロファイル機能であり、使いにくい点として課題等の通知についてや接続環境が課題であり、良い点としてはクラスプロファイル機能が充実していること、情報集約についてであることがわかった。

当日のグループ活動では、学修ポートフォリオの機能と使い方の説明が必要であること、就活への機能が必要であること、見返す必要性を感じない、教員からのフィードバックがあると嬉しい、マイステップとの連動などの意見があげられた。

事後アンケート結果から、「担任や教職員から指導・支援をうけた際に、kyonet (学修ポートフォリオなど)に蓄積された情報が活用されていると実感しますか」という問いに対して、7人中2人が感じると回答し、残り5人は感じないと回答した。このことから活用されていないと感じている学生がいることが明らかになった。「教員からのフィードバックを活用したことがあるか」という問いに対しては7人中5人が活用したことがあると回答した。教員からの感想が嬉しい、コメントから学修計画等を立てることなど活用しているなどの回答であった。「今後、学修ポートフォリオを効果的に使うために、大学側にどのようなことを期待しますか。」という問いに対しては、使い方説明、フィードバックの速さとマイステップの連携、記入するとどのように自分の学びに活かせるのかの説明をする、就活向けの仕組み、日記のような感覚で使えるような学修ポートフォリオの手帳機能などの記述があった。その他、学生評価委員会の運営に関することでの意見感想については、グループワーク、全体発表をすることで様々な意見を知ることができた、他学部・他学科の学生生活習慣を共有できた貴重な機会、今回の議題は難しかった、学生の悩みや疑問を解決しようとしていて嬉しい、委員会開催日時間の変更などの意見感想があった。

4.事前アンケート結果の概要:

総回答件数:20 件/22 人

アンケート結果:

設問1「kyonet でよく使う機能・使っていて困ったこと・使っていて良かったこと」について

①kyonet でよく使う機能

| 機能 | 件数 |
|------------|----|
| クラスプロフィール | 10 |
| 学生出席状況 | 4 |
| kyoritsu就活 | 3 |
| 掲示板 | 3 |
| 教室予約 | 2 |
| 教員スケジュール | 1 |
| シラバス | 1 |

②使っていて困ったこと

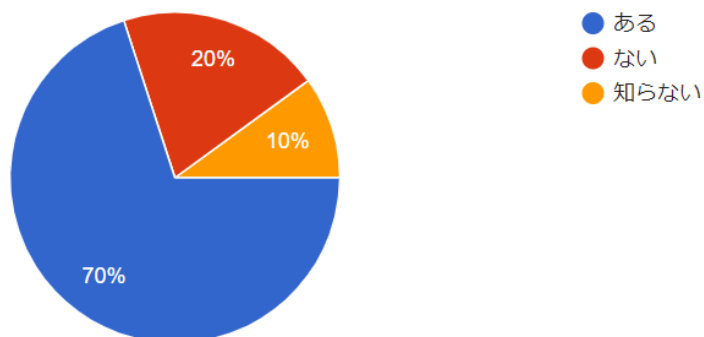
| 困ったこと | 件数 |
|-------------------|----|
| 使用しにくい | 9 |
| 接続不良 | 8 |
| セッションタイムアウトの時間が短い | 5 |
| メンテナンス時間が長い | 1 |
| 掲示配信が遅い(休講など) | 1 |
| Q&Aの返信が遅い | 1 |
| 機能充実を希望 | 1 |
| 関係のない掲示配信 | 1 |
| 必要な時に安否確認の連絡がない | 1 |

③使っていて良かったこと

| 良かったこと | 件数 |
|----------------|----|
| クラスプロファイル機能の充実 | 7 |
| 情報が集約されている | 3 |
| Q&A機能の充実 | 2 |
| シラバスの充実 | 1 |
| 掲示機能の充実 | 1 |
| 振り返りに活用できる | 1 |
| 就職活動に活用できる | 1 |

設問2 学修ポートフォリオの機能を使ったことはありますか？

20 件の回答



設問2-2 どのような時に使いましたか？ ※「ある」と回答者のみ

| 機能 | 件数 |
|---------|----|
| 自身の振り返り | 9 |
| 担任面談 | 6 |
| 活動記録の蓄積 | 3 |

5.当日委員会活動の概要:

開会の挨拶で学生評価委員会の意義、役割を確認し、kyonet でよく使う機能についてグループワークした。「大学での学びについて(自身の学びを評価しながら何をどう学んでいくかのデザイン)」「学修ポートフォリオについて」大学・短大側(高等教育開発センター)からそれぞれ説明があり、その後に「学修ポートフォリオの活用について」グループワークを行った。グループごとにまとめた意見を発表があり、高等教育開発センターからフィードバックを行った。

グループワークでまとめた意見の発表の内容は次のとおりであった。

A チーム

- ・記入後に「公開する」のボタンが出てくるが、どこに公開されるのか分からなく不安。
- ・アルバイトの活動記録は載せる意味あるのか。
- ・マイステップ(学修ポートフォリオ)自体あまり使わない。
- ・社会人基礎力チェックの受検時間が長い。PROG は時間内に終わらない。
- ・入学時に説明がないから、分からないのではないかな。
- ・学修ポートフォリオをうまく使えてる人を見たことがない。
- ・就職活動の時に使いたかったが、機能がよく分からなかった。
→就活に活かせる仕組みが欲しい。
- ・成績を学習ポートフォリオから確認することがあるが、他の場所からも閲覧できるので、わざわざ学修ポートフォリオを開かない。
- ・自己評価を見返す必要がない。また、自己評価を低くしがちな学生が多い印象。
→教員や各教科ごとなど客観的な意見が欲しい。
- ・1, 2 年生にはあまり意味のない機能なのではないかな。
- ・卒業時に見返す予定はない。
- ・担任面談でこの機能を使わなかった。
- ・今のままでは、学習ポートフォリオの必要性はほとんどない。逆に、就活にフォーカスした機能が切実に欲しい。

B チーム

良い点

- ・自分の今までの活動を記録できる点
- ・教員からコメントが来ていると嬉しい

改善点

- ・マイステップとの連動が取れていない。
- ・今までの記録ではなく、これからの目標も記録したい。
- ・kyonet の TOP 画面に「学修ポートフォリオ」のアイコンがあった方が活用しやすい。
- ・学修ポートフォリオの使い方に関する説明が欲しい。(活用している人の例など)
- ・マイステップとの違いが分からない。
- ・学部によって連絡の頻度が違う。

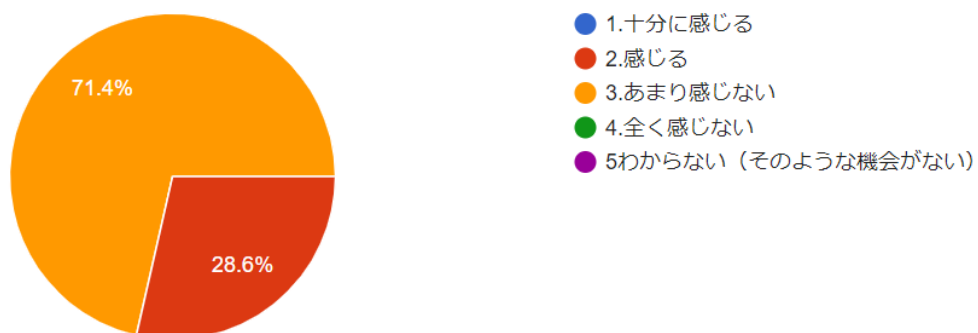
6.事後アンケート結果の概要:

総回答件数:7件/7人

アンケート結果:

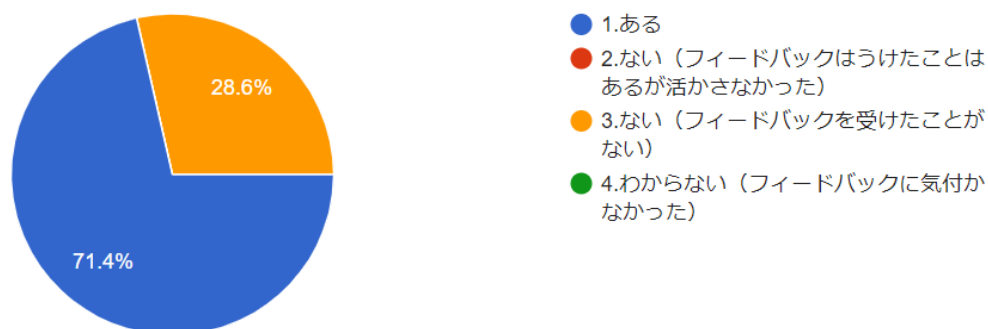
設問1「本学では、kyonet を軸とした教育活動・教育支援を行っています。担任や教職員から指導・支援を受けた際に、kyonet (学修ポートフォリオなど)に蓄積された情報が活用されていると実感しますか。」

※今回の学生評価委員会での説明内容やグループ活動を通じて、普段の状況を振り返って(思い出して)回答してください。



設問2「担任面談や教職員からの指導・支援をうけた際に、フィードバックされた内容を、自身の学びや学生生活に活かした経験はありますか。」

※今回の学生評価委員会での説明内容やグループ活動を通じて、普段の状況を振り返って(思い出して)回答してください。

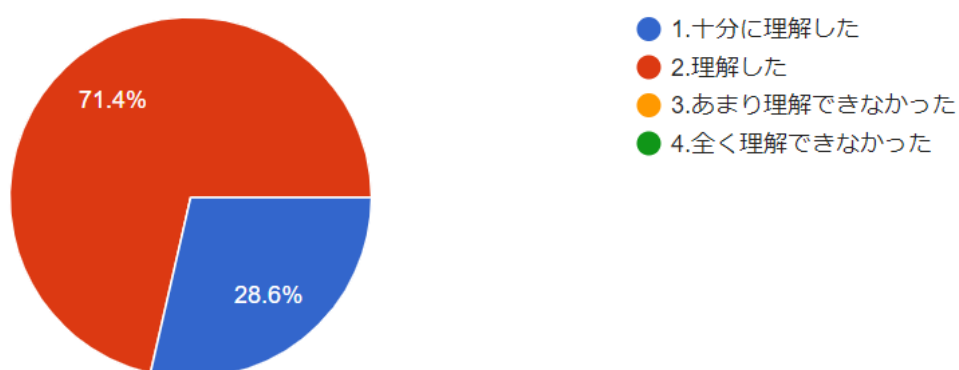


設問2—2「教職員からのフィードバックをどのように活用しましたか。」

※「ある」と回答者のみ。記述形式

教員からの感想が嬉しい、成績についてのコメント、改善についてや評価が嬉しい、コメントから学習計画等を立てることなど活用しているとの記述があった。

設問3「今回の学生評価委員会の説明やグループ活動を通じて、学修ポートフォリオについての理解は深まりましたか。」



設問4「今回の学生評価委員会の説明やグループ活動を通じて、今後、kyonet や学修ポートフォリオを効果的に活用するために、どのようなことをしたいですか。」

記録を忘れないこと、学びの意味や目的を考えて学修し普段から使用して振り返ること、就活、活動の記入を1週間以内に行うこと、活動記録することで、学修ポートフォリオを効果的に活用することについて記述があった。

設問5「今後、学修ポートフォリオを効果的に使うために、大学側にどのようなことを期待しますか。」

就活向けの仕組み、学修ポートフォリオへアクセスしやすいような kyonet 上の掲示、日記のような感覚で使えるような学修ポートフォリオの手帳機能があれば良い、使い方説明、フィードバックの速さとマイステップの連携、記入するとどのように自分の学びに活かせるのかの説明をする、学修ポートフォリオのアイコン設定などの記述があった。

設問6「その他、学生評価委員会の運営に関することでのご意見・ご感想をお聞かせください。」

グループワーク、全体発表をすることで様々な意見を知ることができた、他学部・他学科の学生生活習慣を共有できた貴重な機会、今回の議題は難しかった、学生の悩みや疑問を解決しようとしていて嬉しい、委員会開催日時間の変更希望などの意見・感想があった。

以上

2022年度第2回学生評価委員会 開催報告

1. 開催概要

開催日時:2023年1月19日(木)17時30分～19時20分

テーマ:「大学での学修におけるPCの活用について」

開催形態:対面グループワーク形式

目的:本学では、2021年度入学者からKyoritsu My パソコンの制度を導入し、授業や授業外での学修、学生生活における活用を促進し、それに対応した教育活動・教育支援を行っている。それらが適切に実施できているかを学生に評価してもらう。

(評価の対象)

大学における学修や学生生活でのパソコンの活用状況

(評価の観点と活用方法)

| 観点 | 評価された内容の活用方法 |
|-----------------------------------|--------------|
| PCの活用の目的・ねらいに対して、学生はどのように実感しているか。 | 現状把握 |
| PCの有効な活用方法・事例の収集 | 他学生への共有、改善活動 |
| PCを活用するに際して課題・不満・要望はあるか | 改善活動 |

2. プログラム

当日出席者:7名/22名(出席率32%)

事前アンケート回答者:17名/22名(回答率77%)

事後アンケート回答者:18名/22名(回答率82%)

事前活動

【事前アンケート】

・授業へのノートPCの持参の有無、授業内での用途、授業外学修での用途、ノートPCを効果的に活用できた点、ノートPCをより効果的に活用するための課題・要望

当日の活動

- 1) 開会にあたって(副学長、大学・短期大学自己点検・評価委員会委員長)
- 2) 活動の流れの説明
- 3) アイスブレイク・意見交換「大学の学修においてどのようにPCを活用しているか」
- 4) 説明「Kyoritsu マイパソコンの導入について」
- 5) 協議「Kyoritsu マイパソコンを有効活用するためのポイントや、大学への提案」
- 6) 振り返り(副学長、リーダーシップ教育センター長、高等教育開発センター長)

事後活動

【事後アンケート】

学修においてPCを活用するにあたり大事な環境面の要素、学修においてPCをより活用するために必要なことなど意見・提案、今年度の学生評価委員会の運営に関する意見・感想

3. 学生評価の総括

今回は、「大学の学修においてどのようにPCを活用しているか」「Kyoritsu My パソコンを有効活用するためのポイントや、大学への提案」のテーマで学生評価委員会を開催した。事前アンケート、当日の委員会活動、事後アンケートによる学生の評価結果は以下の通りである。

(1) 大学の学修においてどのようにPCを活用しているか

Kyoritsu My パソコン(1人1台PC所有)の制度が導入されたのは、2021年度入学生からである。学生評価委員会の委員22名のうち、当制度の対象者は6名であったが、事前アンケートの結果によると、回答者17名のうち13名(76.5%)が自分で所有しているノートPCを「常時持参している」または「必要な授業だけ持参している」と回答しており、学生は何らかのかたちで大学にPCを持参し、活用しているという実態がうかがえる。

大学におけるPCの用途について、事前アンケートの結果および当日の意見交換の結果からは、授業内外において「授業資料の閲覧」、「課題やレポートの作成」、「大学内での授業外学修」、「議事録」、「スキル獲得」、「グループ活動」を円滑に進めるためのツールとして、効果的に活用していることを実感していることが分かる。

一方、事後アンケートにおいて、学生個人のPCが十分活用されているかを5段階評価で設問したところ、授業外で十分に活用されている(評価4・5)と回答した者が17名(94.4%)にのぼった一方、授業で十分に活用されている(評価4・5)と回答した学生は6名(33.4%)に留

まった。今後、Kyoritsu My パソコンを授業内においてより効果的に活用を促進していくことがのぞまれる。

(2)Kyoritsu My パソコンを有効活用するためのポイントや大学への提案

事前アンケート、当日の意見交換、事後アンケートを通じて、授業内外で Kyoritsu My パソコンを有効活用するための課題があげられた。課題は、施設・設備など環境面の課題、PC を活用していくための運用面の課題に大別される。詳細は以下の通りとなる。

【環境面の課題】

①学内ネットワーク環境の改善

今回の学生評価委員会で最も強く要望としてあげられたのがネットワーク環境の改善の問題である。Wi-Fi が遅い、繋がらないといった接続不良の状況が頻繁に発生し、それに対する改善要望があげられている。例えば授業内で PC を使用して試験を実施しているときなどに接続が切断されるなどといった状況も発生しており、早急な改善がのぞまれる事項である。

②充電環境の充実

充電スペースが少ないので増設してほしい、貸出充電器を増やしてほしい、講義室の机などにコンセントを設置してほしいという要望が多くあげられた。

③学内での印刷環境の改善

現在、学内のプリンターは、学生個人の My パソコンからは資料等をプリントアウトすることができない。USB や学内設置の PC を介さずに My パソコンから直接プリントアウトできるようにしてほしいという要望があげられた。

④授業外での学修や活動に My パソコンを活用できるスペースの確保

講義室以外に、自学自修に使用できるスペースがより豊富にあると良いとの要望があげられた。就職活動をオンラインで実施する事例も増えてきており、その際に活用できるスペースがほしいという要望もあげられている。

【運用面の課題】

①授業内における My パソコンの活用の促進と運用の改善

(1)にもあげた通り、授業での PC の活用は促進の余地がある。全ての授業で積極的に PC を活用した授業展開をすることや、課題提出や授業資料の提示に、より kyonet

を活用してほしいという要望があった。また、活用されている授業においても、授業資料が授業当日の朝に kyonet にアップロードされるため、短時間で印刷しなければならないことがあるなど、授業における運用ルールも改善すべき点がある。

②学生・教員のスキルの改善

履修登録や授業で My パソコンを活用していくために、1 年次の早い段階で、基本的な PC の操作や基本的なソフトの使用、kyonet の使い方などを習得できる機会が必要との意見があり、情報処理の授業などを必修にすべきという意見もあった。一方、運用する授業担当者のスキルのアップも必要であり、授業で必要な基本操作は教員も習熟すべきという意見があった。

③貸出 PC の運用の改善

学生は、個人の PC だけでなく、機会に応じて学内の貸出 PC も活用している。PC を借りられる場所が限られているので、貸出場所を増設するなど借りやすくしてほしいという意見や、特に 2 号館の貸出 PC は利用できるフロアが制限されているので、その制限をなくしてほしいという意見があった。

④学生に My パソコンの購入を促す際の十分な説明

Kyoritsu My パソコンは、学部・科ごとに必要なスペックが示されているが、そのスペックが推奨されている理由を明確に示してほしいという意見があった。他に、PC を対面授業で活用するという説明の掲載や、価格の情報の分かりやすい掲載など、ホームページ上での情報提示をより工夫してほしいという意見もあった。

4. 事前アンケート結果の概要

基礎情報

対象: 学生評価委員全員 (22 名)

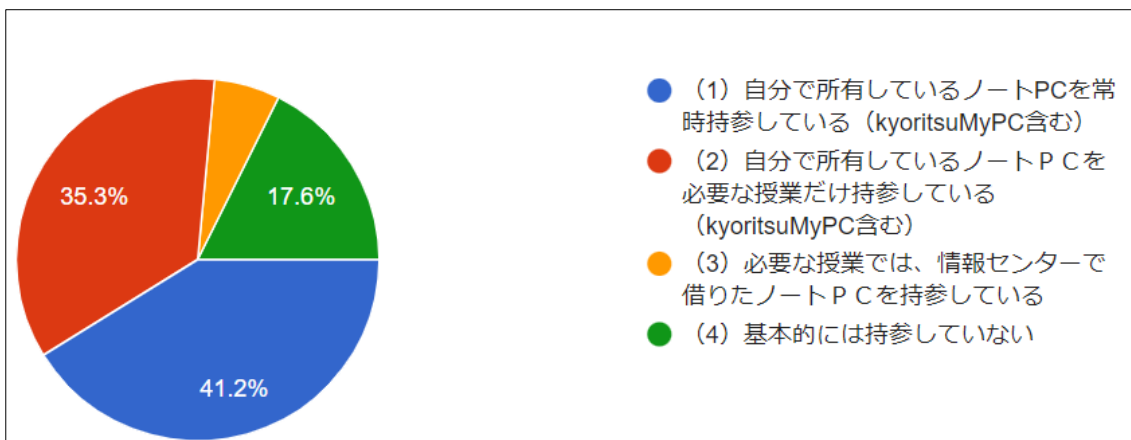
回答期間: 2022 年 12 月 23 日 (金) ~ 2023 年 1 月 18 日 (水)

回答率: 77% (17/22 名)

実施方法: Google フォーム

設問1

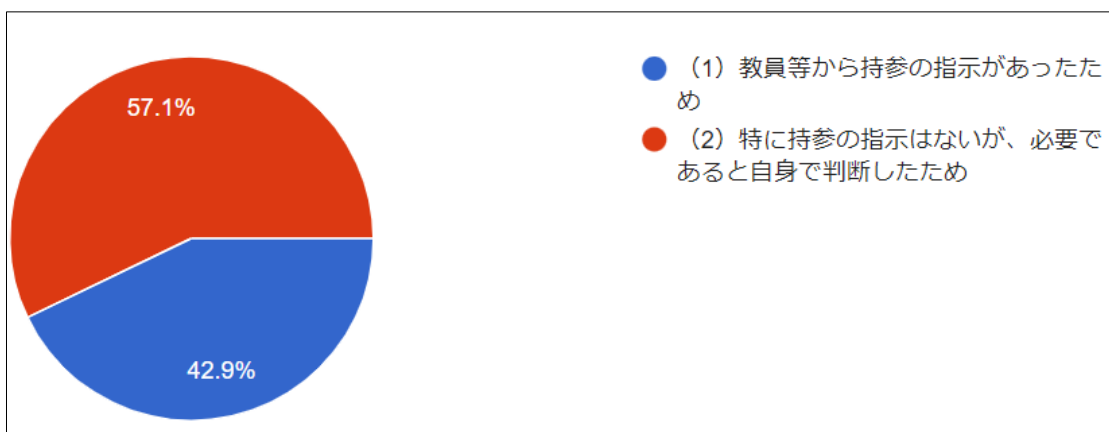
普段、授業を受けるときにノートPCを持参していますか。 17件



設問 2-1

設問 1 で回答した理由を教えてください。

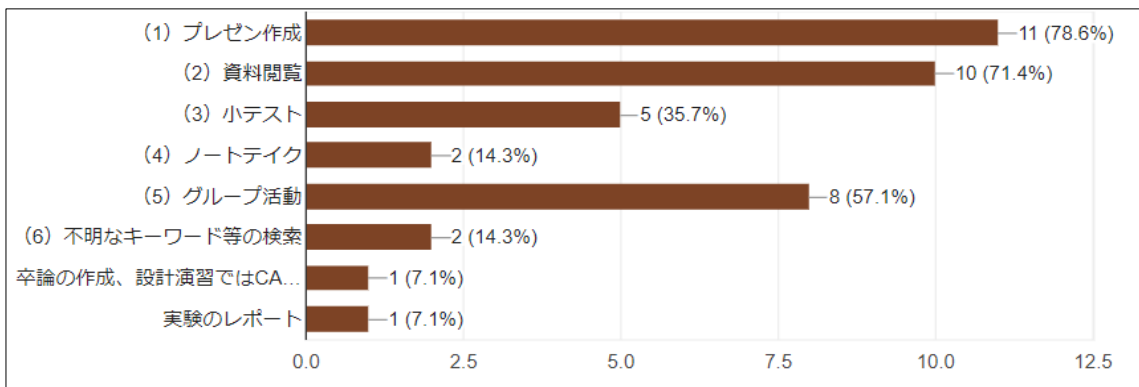
※設問 1 で(1)～(3)と回答した方のみ 14件



設問 2-2

授業内では、どんな用途でノートPCを使っていますか(複数選択可)

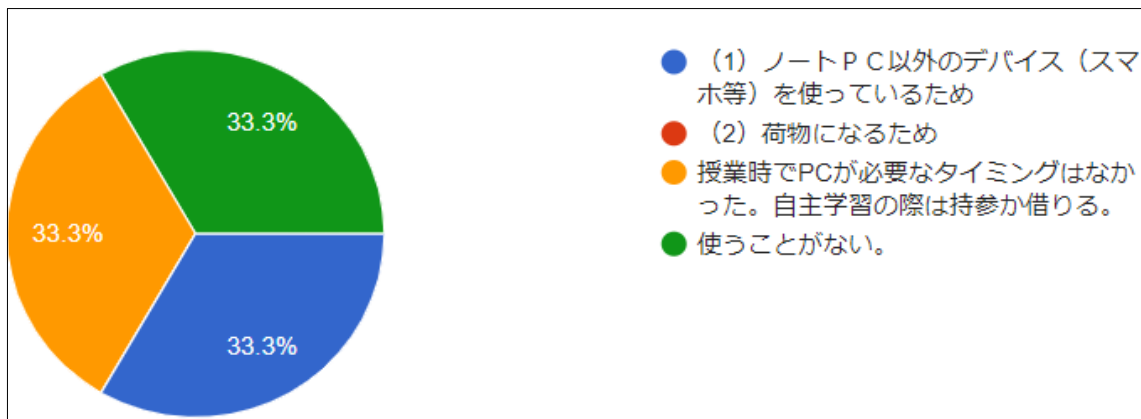
※設問 1 で(1)～(3)と回答した方のみ 14件



設問 2-3

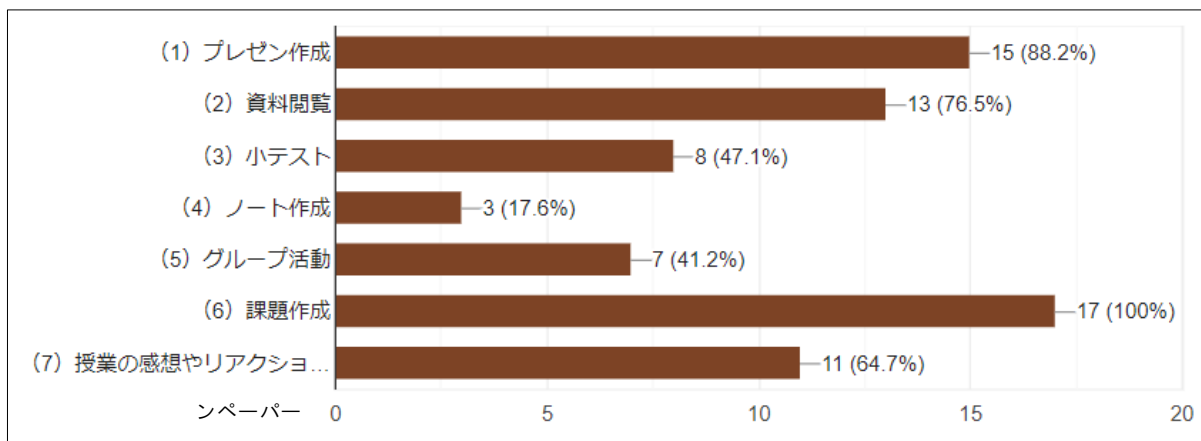
設問 1 で回答した理由を教えてください。

※設問 1 で(4)と回答した方のみ 3 件



設問 3

授業外での学修(事前・事後学修等)では、どんな用途でノート PC を使いますか(複数選択可)



設問 4

大学において、これまでにノートパソコンを効果的に活用できたと感じたことがあれば教えてください。(部活やサークル活動なども含みます)

授業資料の閲覧、課題やレポートの作成、大学内での授業外学修、議事録、スキル獲得、グループ活動を円滑に進めるためのツールとして、効果的に活用したことを実感している。

設問 5

大学においてノート PC をより効果的に活用するために、課題・要望があれば教えてください。

ネットワークの接続不良の改善、充電スペースの確保、パソコン貸出場所の増設、貸出充電器の増加、就活時オンライン面接場所の設置、My パソコンからのプリントアウト、共立講堂内での Wi-Fi 使用、など多くの課題・要望が寄せられた。

5. 当日委員会活動の概要

開会の挨拶で学生評価委員会の位置づけ、活動の意義について確認があったのち、「大学の学修においてどのように PC を活用しているか」について意見交換を行った。その後、「Kyoritsu My パソコンの導入について」の説明を踏まえて「Kyoritsu My パソコンを有効活用するためのポイントや、大学への提案」について協議を行った。それぞれのグループワークののち、グループごとにまとめた意見の発表があり、最後に高等教育開発センターからフィードバックを行った。

グループワークの意見の発表内容は以下の通り。

(1) 意見交換「大学の学修においてどのように PC を活用しているか」

A グループ

- ・授業や課題で PC を使う。
- ・マイパソコンを持っている人が多い。
- ・学科によって使っているソフトが違う。それによって使っている PC が違う。
- ・本館には充電スポットが少ない。Mac を使っている学生は充電できない。
- ・印刷を大学でする場合、大学の PC でなければならぬので、大学の PC を使っている。

B グループ

- ・PC を使う機会としては、PowerPoint の作成、課題の作成、授業資料の閲覧、テストの受験がある。
- ・学部によって PC を使う頻度が異なる。看護学部は授業内で課題を行うことが多いので、使う頻度が高い。
- ・充電が持たないことが多い。講義室によってコンセントのあるところとないところがある。全部の講義室にコンセントが差せる場所がほしい。
- ・Wi-Fi が弱く、授業前後やテストの際に影響が多い。
- ・学内で PC を借りられる場所が限られている。

(2) 協議「Kyoritsu マイパソコンを有効活用するためのポイントや、大学への提案」

A グループ

- ・一人一台あった方が学修しやすい。
- ・貸出パソコンを減らして充電スペースが増やせるのでは(2号館。本館はそのまま)。
- ・(PCを揃えるには)人によっては金銭的に厳しいのでは。補助が必要か。
- ・自分の持っているのと違うPCを授業で使うときが大変。
- ・荷物が多いので貸出PCを使用している。
- ・WindowsとMacの違いがあり、操作に慣れていないと使い方の習得に時間がかかってしまう。どちらかに統一しておくことで使い方の違いで困ることがない。
- ・MacはWord・Excel・Powerpointがないから将来的にはどうか。
- ・2号館の貸出PCは使用できるフロアを限定するのではなく、広く使えるようにしてほしい。充電不足の時などに使用したい。貸出パソコンの使いやすい環境を整えてほしい。
- ・貸出PCを3号館でも借りやすくしてほしい。
- ・学校のPCは立ち上がりが遅い。
- ・Wi-Fiに問題がある。試験の時に落ちる。10数人繋がらないことがあった。
- ・ラーコモにMacの充電器を置いてほしい。
- ・授業で1回しか使わないソフトのダウンロードを求められることがある。PCの容量を食ってしまう。

Bグループ

- ・Myパソコンは、学部それぞれのスペックの推奨理由が示されているとよい。Myパソコンと違うPCを持っている人もいるので、買い替えるかどうかの決断が下せる。
- ・kyonetの活用等が目的であれば家族用のPCで良い。PCを対面授業で使うという説明もほしい。(マイパソコンのHP)
- ・他大学では、PCを4年間貸出する制度や生協などから安く購入できる仕組みがある。
- ・追加ソフトの値段の表示をしていただけると良い。
- ・プリントアウトはMyパソコンからできるようになるようにすると良い。
- ・授業当日の朝に授業資料が公開されて、短時間で印刷しなければならないときがある。
- ・貸出PCの立ち上がりが遅い。
- ・コピー機も混雑している。
- ・情報処理の授業など、ExcelやPowerPointのスキルアップができる授業を必修にすべき。
- ・教員のスキルも改善してほしい。
- ・充電の減りが速いので、講義室の机で充電できるとよい。
- ・売店で販売するPCの価格の情報がほしい。HPの一番上に大学で購入できるという情報を載せてほしい。
- ・全授業で資料をkyonetの授業資料にアップしてほしい。

- ・Wi-Fi を強化してほしい。全員がログインすると時間がかかる。テストのときに時間がかかる。これが一番お願いしたい点。

6. 事後アンケート結果の概要

基礎情報

対象: 学生評価委員全員 (22 名)

回答期間: 2022 年 1 月 19 日 (木) ~ 2023 年 2 月 7 日 (火)

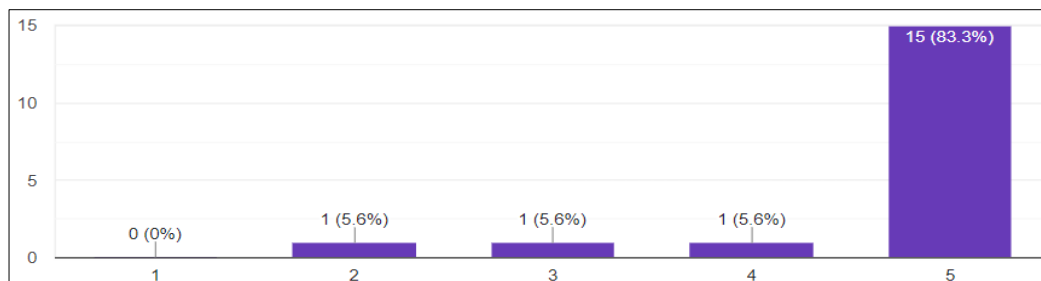
回答率: 82% (18/22 名)

実施方法: Google フォーム

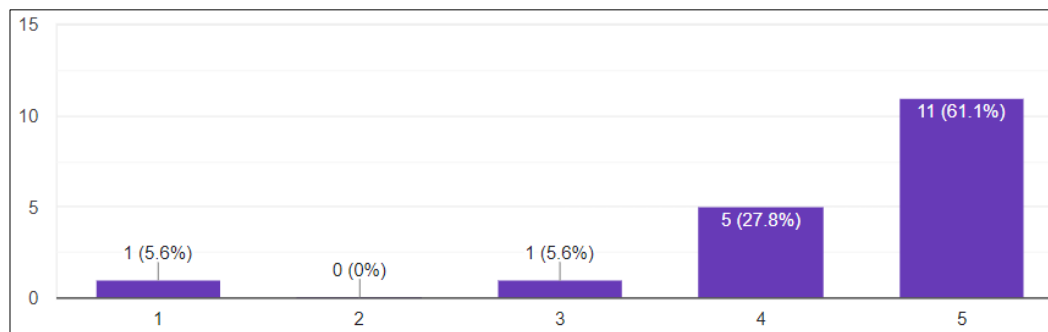
設問1

大学・短期大学での学修において、My パソコンを活用するにあたり、環境面の下記のような要素はどのくらい大事だと思いますか？5 段階評価でお答えください。

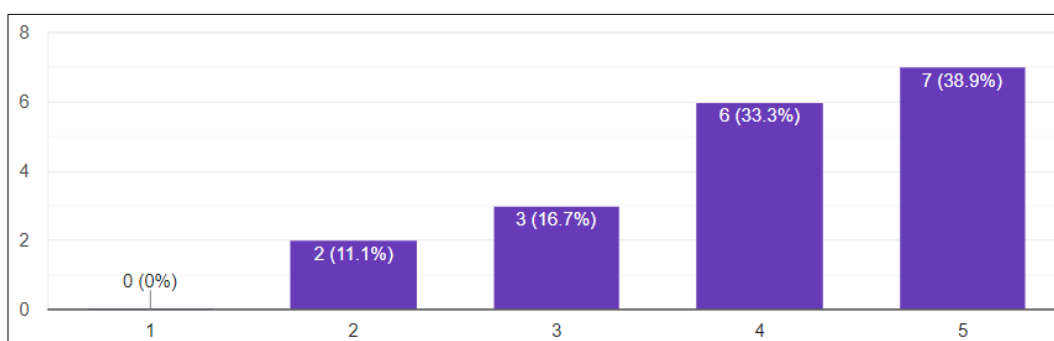
① ネットワーク環境について ※1 低い→5 高い



② 充電環境について ※1 低い→5 高い

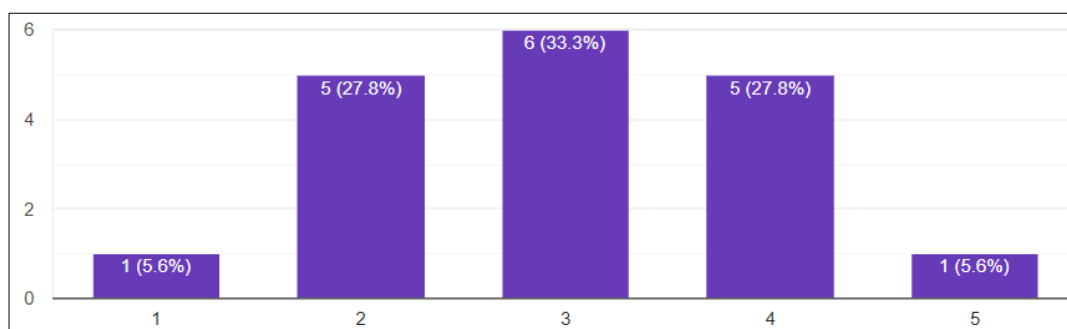


③パソコンを活用する場所について ※1 低い→5 高い



設問 2

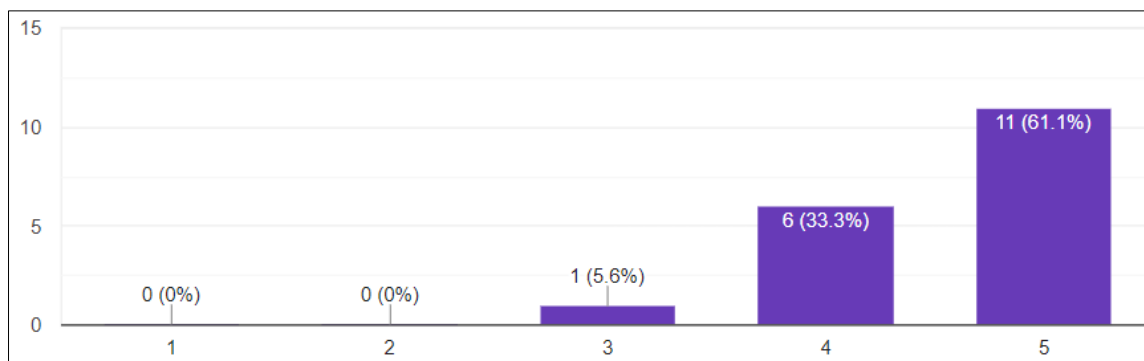
授業で学生個人のパソコンが十分に活用されていると思いますか？(2022年度の状況から回答ください) ※1 活用されていない→5 活用されている



⇒「活用されていない」「どちらともいえない」「活用されている」の割合が同じ。「活用されていない・どちらともいえない(1~3)」と回答した層を、いかに「活用されている(4と5)」に増やすことができるかが今後の課題。

設問 3

授業外で学生個人のパソコンが十分に活用されていると思いますか？(2022年度の状況から回答ください) ※1 活用されていない→5 活用されている



⇒95%の割合で「活用されている」と回答。授業外では十分に活用されていることが分かった。

設問 4

大学・短期大学での学修において、マイパソコンをより活用するために、必要なことなど意見や提案があれば記入ください。

ネットワークの接続不良の改善、充電スペースの確保、パソコン貸出場所の増設、貸出充電器の増加、貸出パソコンのバージョンアップ、学部推奨パソコンにした理由、My パソコンからのプリントアウト、教員のパソコンスキルの向上、全ての授業でパソコンを活用する授業展開、などが寄せられた。

事前アンケートでも寄せられた「ネットワーク接続不良の改善」「充電スペースの確保」に加えて、授業内で効果的に活用するためには「教員のパソコンスキルの向上」「全ての授業でパソコンを活用する授業展開」が大きな課題となる。

以上